

## 通級による指導のガイドの作成に関する検討会議の設置について

平成31年2月13日  
初等中等教育局長決定

## 1. 目的

障害のある児童生徒に対する教育においては、児童生徒の自立や社会参加に向けた主体的な取組を支援するという視点に立ち、一人一人の教育的ニーズを把握し、その持てる力を高め、障害による学習上又は生活上の困難を改善又は克服するため、適切な指導及び必要な支援を行うことが必要であり、多様な教育的ニーズに対応できる学びの場の充実が求められている。

中でも、「通級による指導」は、通常の学級に在籍する障害のある児童生徒が、各教科等の大部分の授業を通常の学級で受けながら、一部の授業について、障害に応じた特別の指導を特別な場で受ける指導形態であり、平成5年に学校教育法の改正により小・中学校において制度化されて以降、通級による指導を受ける児童生徒数は年々増加している。

児童生徒数の増加に対応した質の担保に向けては、文部科学省障害者活躍推進チームにおいて、「共生に向けた「学び」の質の向上プラン」を策定し、通級における指導方法のガイドを作成することを盛り込んだところである。

このため、標記会議を設置し、これまでの指導の蓄積や課題等を踏まえ、通級による指導の実施に際して、参考となるガイドを作成するための検討を行う。

## 2. 検討事項

通級による指導の実施に際して、教育委員会や学校現場で参考となるガイドを作成するため、その内容等について検討する。

## 3. 実施方法

- (1) 別紙の構成員において、「2. 検討事項」に掲げる事項について検討を行う。
- (2) 必要に応じて、別紙以外の関係者にも協力を求めることができる。

## 4. 期間

平成31年2月13日から平成32年3月31日までとする。

## 5. 公開等の取扱い

この会議の議事及び資料は、原則として公開とする。ただし、個人情報を含む事項等について、会議に諮った上で非公開とすることができる。

## 6. その他

- (1) この会議に関する庶務は、特別支援教育課において行う。
- (2) その他会議の運営に関する事項は、必要に応じ会議に諮って定める。

(別紙)

通級による指導のガイドの作成に関する検討会議 委員名簿

石隈 利紀	東京成徳大学心理学研究科 教授
蒲田 紀孝	長崎県教育庁特別支援教育課 指導主事
川嶋 栄子	世田谷区立笹原小学校 主任教諭
小貫 悟	明星大学心理学部心理学科 教授
酒井 康年	うめだ・あけぼの学園 作業療法士 日本作業療法士協会 理事
宍戸 和成	独立行政法人国立特別支援教育総合研究所 理事長
長瀬 和美	練馬区立旭丘小学校きこえの教室 主任教諭
野口 晃菜	株式会社 LITALICO LITALICO 研究所 所長
堀子 榮	千葉県教育委員会教育振興部特別支援教育課 課長
本田 秀夫	信州大学医学部子どものこころの発達医学教室 教授
三嶋 和也	千葉県立船橋夏見特別支援学校 主幹教諭
吉成 千夏	豊島区立池袋本町小学校 主幹教諭

<オブザーバー>

独立行政法人国立特別支援教育総合研究所

国立障害者リハビリテーションセンター

(氏名 50 音順、敬称略)